

令和6年度 第2回随時庁議 議事報告

開催日時：令和6年11月1日（金）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

【進行：政策課長】

1 開会

2 市長あいさつ

10月27日に投開票のあった「衆議院議員総選挙及び笛吹市議会議員一般選挙」については、多くの職員の協力の下、適正に事務が執行され、トラブルなどもなく無事に終了した。選挙管理委員会をはじめ、選挙事務に従事した職員に感謝する。市長選挙は無投票であったが、これから4年間も私が市政を担わせていただくことになった。引き続きよろしくお願いする。

本日は3期目に取り組みたいことについて説明する。

最重要課題は人口減少対策である。これに少しでも歯止めをかけるために様々な取組を進めていく。その中でも、これからの4年間で最も力を入れるのは子育て支援であり、新たに「笛吹こどもまんなか みんなで育むまちづくり」を掲げた。中には、子育て支援ばかりで高齢者施策が少ないとの意見を持つ市民の方もいるかもしれないが、決してそんなことはない。子育て世帯にフォーカスしているのは、高齢者世代を支えるためである。本市を含め、全国的に少子高齢化が進む中、このままでは介護保険料などの高齢者の負担が大幅に増えていくことが懸念されている。そうならないよう、高齢者等を支える側である現役世代を増やす必要がある。子育て支援を強化するのは社会を支える土台づくりのためである。様々な子育て支援策を展開するつもりでいるが、保育料の無償化と小中学校等における給食費の恒久的な無償化の2つの取組は、特に重点的に取り組むべきことだと思っている。

教育にも力を入れていく。小中学校の外国語指導助手の倍増やオンライン英会話の実施に向け取り組むほか、現在進めている民間プールの活用を順次拡大していく。また、富士見小学校の改築や学校給食センターの整備など、ハード面の事業も進めていく。文化施設に関しては、現在、検討委員会を立ち上げて、文化施設の在り方を検討しているところであり、その検討結果なども参考にする

中でリニューアルを進めていきたい。

観光に関しては、FUJIYAMA ツインテラスを最大限活用し、インバウンド客の取込み強化を図る。富士山周辺を訪れる観光客をなるべく笛吹市に誘導できるよう取組を進めるとともに、引き続き、笛吹みんなの広場にイベントを誘致し、賑わいを創出する。

農業に関しては、引き続き、世界農業遺産を活用した桃のやぶどうの「笛吹ブランド」の確立を図るとともに、ICTを活用したスマート農業の推進、農業塾の充実などを図る。

また、企業誘致を更に前に進めるとともに、行政ポイント制度など新たな取組も導入し、活力ある地域経済づくりを進めていく。

防災に関しては、2 期目に引き続き「防災新時代 命を守るまちづくり」を掲げ、市民の皆様の安全安心のため、取組を強化していく。

AI デマンドの市内全域への本格運行、市営温泉施設の改修、みさか桃源郷公園のリニューアルなど、快適な生活環境づくりに向けた取組についても、引き続きスピード感を持って進めていく。

多文化共生社会の推進に向けては、国際交流や姉妹都市交流のみならず、市内に居住している外国人と市民の交流を深めていくような取組をしたい。

また、将来を見据えた行財政づくりの一環として、自治体 DX やふるさと納税の取組も、引き続き注力していく。

以上が 3 期目に取り組みたい施策の概要である。保育料や給食費の無償化には多額の財源が必要となるため、甲府市など人口規模の大きな自治体はすぐに実施することは難しいと思う。これだけで必ず人口が増えるというわけではないが、本市がこうした取組を進めることで、子育て世代を本市に取り込む大きな流れを作りたいと思っている。

引き続きこれからの 4 年間も、市の発展と市民の皆様の幸せのために、職員とともに全力で取り組んでいく。

3 協議・報告事項（議長：副市長）

(1) 笛吹市地域防災計画における職員配備基準の一部見直しについて （総務部）

説明：総務部長

【説明内容】

資料に沿って説明（防災危機管理課長）

【質問意見等】

(保健福祉部長)

いつから見直し後の運用を行うのか。

(防災危機管理課長)

統括班である対象職員に説明を行った後、直近の警報対応等があった時から運用を開始する。対象職員全員が均等に訓練できるよう、ローテーションを組んで対応する予定である。

(保健福祉部長)

具体的な開始時期は決まっていないのか。

(防災危機管理課長)

12月1日からの運用開始としたい。

(副市長)

それでは12月1日からの運用開始に向け、準備を進めること。

(防災危機管理課長)

承知した。

1点報告がある。

本年9月1日に予定していた防災訓練については、台風10号の接近に伴い中止となった。先日、本件について懸案協議に諮った際、災害対策本部の設置及び運営に係る訓練などを行うよう指示があった。これを受け、11月27日の午前10時30分から11時30分まで訓練を行うことを予定している。詳細については改めてインフォメーションでお知らせするので御承知おき願う。

(総務部長)

勤務時間内での訓練となるため、通常勤務の服装のままで問題ない。

(2) 令和7年度における重点事業について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（政策課長）

【質問意見等】

質問意見なし

(3) 令和7年度予算編成方針について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（財政課長）

【質問意見等】

（保健福祉部長）

一般財源の部局別配分額については、何を基に数値を算出しているのか。

（財政課長）

今年度の9月補正の現計を基に数値を出している。

（保健福祉部長）

扶助費については、長期財政推計において右肩上がりで伸びていくと試算されており、実際に今年度も扶助費が足りないため、12月補正予算に必要な経費を計上する予定である。また、私が承知している範囲でも、保育園等の施設型給付費については、今後国の公定価格が増額改定されることが見込まれる。この配分額には、それらの増額分が含まれていないが、何かしら配慮してもらえという認識でよいか。

（財政課長）

9月現計を基にしているため、御指摘の点については配慮していない。

（副市長）

保健福祉部長が言ったように、9月以降に何かしらの理由によって予算額が増えることもある。今年度はすでに配分済みなので仕方ないが、来年度に向け、どのようなやり方が良いのか検討していくこと。

(財政課長)

承知した。

(副市長)

現在、組織編制や職員数などのことについて、事業が増えているから人を増やして欲しいという価値観を持っている職員もいるようだが、事業を増やす場合にはその分事業を減らす必要がある。担当者は目の前の仕事を一生懸命にこなしており、課の中で自分が受け持つ事業がどのような位置付けでどういった優先順位にあるのかということまでは分からない。役割を終えた事業を廃止に導くのは、担当部長や担当課長の役割である。部長や課長は、各事業がどのような成果を出しているのかしっかりと評価を行い、その上で廃止する事業を決めること。そういった取組を私たちも部長や課長の評価としてしっかり見る。

4 その他

※令和6年度第8回定例庁議

11月18日（月） 午後1時15分～ 本館3階302会議室

5 閉会

午後2時5分閉会